

2019年1月10日

新日鐵住金株式会社

1310MPa ハイテンが自動車構造用冷間プレス部品として世界初採用

新日鐵住金株式会社（以下、新日鐵住金）はマツダ株式会社（以下、マツダ）と共同で、1310MPa 級高張力冷延鋼板（以下、1310MPa ハイテン）を用いた車体構造用冷間プレス部品の開発に取り組み、このたび、マツダ新型 MAZDA3 に、世界で初めて採用されることとなりました。

1310MPa ハイテンはこれまで自動車用バンパーには採用されておりますが、材料強度と相反する性質であるプレス成形性の制約から、より複雑な形状を有する車体構造部品への採用は 1180MPa ハイテンまでとなっております。

新日鐵住金が、プレス成形時に発生する割れやしわを抑制し、良好な部品寸法精度を確保するための工法を開発した他、マツダと共同で生産技術面、性能面の課題を解決したことで、1310MPa ハイテンが車体構造部品へ採用されました。

今回の 1310MPa ハイテンの採用により新型 MAZDA3 の軽量化および衝突安全性能の向上に貢献しました。今後もハイテン材の更なる高強度化および適用範囲の拡大により、自動車の一層の軽量化、衝突安全性能の向上に貢献していきます。

新日鐵住金は、今後も自動車の軽量化等に寄与する環境に優しい鋼材・構造・工法の開発・提供を通じて、お客様や社会のご要望に応じて参ります。

（当該構造部品が採用される新型 MAZDA3）



（画像提供：マツダ株式会社）

お問い合わせ先：総務部広報センター 03-6867-2146, 2135, 2977, 3419

以上



新日鐵住金

2019年4月 日本製鉄へ